

2000年1月1日～2019年12月31日の間に 川崎医科大学附属病院・川崎医科大学総合医療センター（旧 川崎医科大学附属川崎病院）において胃癌の治療を受けられた方へ

「高齢者胃癌症例の後方視的検討」へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学消化器外科学	准教授	遠藤俊治
研究分担者	川崎医科大学消化器外科学	教授	上野富雄
	川崎医科大学消化器外科学	特任教授	藤原由規
	川崎医科大学総合外科学	教授	山辻知樹
	川崎医科大学消化器外科学	講師	東田正陽
	川崎医科大学総合老年医学	教授	杉本 研

1. 研究の概要

75歳以上の高齢者の方に胃癌が見つかったとき、どのような手術がよいか、どのような抗がん剤を使えばよいか、はっきりしたデータがありません。この研究では、過去に胃癌と診断された75歳以上の患者さんのデータを集めて、どのような人が再発しやすいか、どのような治療が適切かを研究し、今後の胃癌患者さんの治療方針の目安にします。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2000年1月1日～2019年12月31日の間に川崎医科大学附属病院・川崎医科大学総合医療センター（旧川崎医科大学附属川崎病院）で胃癌と診断された75歳以上の患者さんを研究対象とします。

2) 研究期間

2020年11月16日～2026年12月31日

3) 研究方法

2000年1月1日～2019年12月31日の間に川崎医科大学附属病院・川崎医科大学総合医療センター（旧川崎医科大学附属川崎病院）において胃癌と診断された75歳以上の方で、研究者が診療情報をもとに予後に関する分析を行い、術式や治療法別の予後比較検討を行います。

4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、胃癌のステージ、治療法、治療成績 等

5) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究全体の終了日から5年を経過した日又は研究結果の最終の公表について報告された日から3年を経過した日のいずれか遅い日まで、川崎医科大学消化器外科学教室で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2021年3月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<お問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 消化器外科

氏名：遠藤俊治

電話：086-462-1111 内線 26503（平日：9時00分～17時00分）

ファックス：086-462-1199

3. 資金と利益相反

この研究は川崎医科大学教員研究費を資金として行われます。本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。